

福岡教区に宮原司教着座

当日、正面入り口には「ドミニコ宮原良治司教 福岡教区着座式」と書かれた大きな看板が掲げられ、開始の数時間前から大型バスが次々に到着していた。

午後二時から始まった着座式では、教皇ベネディクト十六世の三月正式に就任し、引き続き十九日付の任命書を読み上げられ、大分教区との最初のミサを司式した。当日は駐日教皇大使アルベルト・ボッターリ・カステッロ副司教が福岡教区に宣旨された。その後、全国十五人の司教、イタリア・ボッパの司教、宮原司教が司教職の象徴である杖（バクルス）司教（杖）を手にし、司教座の約百五十人の司教、修道士、信徒が見守った。



（こ）三月、福岡教区の新しい牧者に任命されていた宮原良治司教（52）前大分教区司教、写真左は五月十八日、福岡国際センター（福岡市）で行われた着座式で、第六代同教区司教に就任した。式には教区内外から約三千人が参列。松永久次同司教が二〇〇六年六月一日に急逝して以来、二年近く司教座空位が続いた同教区は、宮原司教の下で新しい歩み始めた。一方、大分教区は五月十九日、教区顧問会を開き、田口孝志神父（同教区）を教区管理者に選んだ。

「信徒と共に祈りたい」

「ドミニコ宮原良治司教」

ミサで説教した高見三明大司教（長崎教区）は、司教の役割や使命を説明し、宮原司教が大分教区司教になった時（二〇〇〇年十月）、「私はよくて大分教区にまいりました」とあいさつしたことを紹介。「今回もおそろい、よくて福岡にまいりましたとおっしゃると思います」と話した。

福岡教区司教は宮原司教で三代続いた他教区からの転任だった。祝辞を述べた教皇庁大使は、「福岡教区内から司教が選ばれたようにこの希望もあって」と語り、「私たちはカトリック（普遍的）ローマ教皇（ベネディクト十六世）もドイツ人であり、大切なことは「よい司教が選ばれること」と指摘、宮原司教が福岡教区で職務を果たせるよう、聖霊の恵みを祈ると教区民を励ました。



ミサで奉納する子どもたちを祝福する宮原司教

「大分教区の皆さん、宮原司教はまず、「新しい福岡教区の司教座の座の地はいかがですか？」「尊敬と信頼のクッションを」と入れて座りやすくしたもので」と語り掛け、アツしりと座ってくださった。そして今後、イエス様を中心に、司教様と共に心を一つし、力を合

わけてさまざまな障害を乗り越えて宣教司教に励んでいきたいと思いましたが、決意を述べた。その後、福岡教区の修道士、信徒の代表があいさつした。

「正直な気持ちには感謝」

宮原司教はまず、「いまの正直な気持ちには感謝です」と話し、大使にイタリア語で謝辞を伝え、参列した各司教を集めた人々に紹介した。前任地の大分教区に対しては次のように感謝を表した。

福岡教区 基礎統計	
2006年12月末現在	
管轄 福岡・佐賀・熊本	
信者総数	31,074
司祭	77
修道士	379
小教区	55
修道院	59
医療施設	2
社会福祉施設	49
教育施設	64
洗礼数(2006年)	387

カトリック中央協議会調べ

紋章に寄せて 宮原良治司教

赤色の盾形の紋地にある緑の丸は、教区全体の神の民を表し、その形が丸いのは、教区全体の一致、司教と教区民との強いきずなを表している。緑は、絶えず成長し続けていることへの願いと希望が込められている。

その中には、みことばと、ご聖体を中心とする諸秘跡があり、神の民が常にみことばと諸秘跡によって照らされ、導かれ、支えられ、強められ、豊かにされることを意味している。三つ葉の組みひもは、その結果、管轄内の三つの県民が交わりを深め、一致団結して一つになることを意味している。

その上の鳩は聖霊を表していて、教区全体が常に聖霊に導かれて絶えず刷新され、教区民が聖霊の炎に包まれて熱意に満ちあふれ、活発になり、豊かになることを意味している。星は聖母マリアを表し、教区民が夜も昼も聖母マリアに見守られ、その取り次ぎを通して、キリストに導かれ、キリストに結ばれることを意味している。



下部の『Adveniat Regnum Tuum』という言葉は、『神よ、あなたの御国が来ますように』という意味で、キリストご自身がもたらしてくださる、またその到来を祈るようにお勧めになった神の御国が、福岡教区でも大きく広がっていくことを願う祈りであり、モットーである。

カトリック新聞

カトリック新聞社
〒135-8585 東京都江東区潮見
2丁目10番10号
電話 (03) 5632-4432 (代表)
(03) 5632-4435 (編集)
(03) 5632-4434 (広告)
FAX (03) 5632-7030
振替口座00170-4-196983番
Eメール 営業 eigy@cwjpn.com
購読 kodoku@cwjpn.com
URL www.cwjpn.com/cwjpn/
©カトリック新聞社 2008
売価 1部 158円(本体 150円)
予約購読料金(国内)
1年(48回) 9480円消費税込
半年(24回) 4740円消費税込

2008年6月
「祈りの使徒」意向

「一般」キリストとの個人的で深い友情
「宣教」教会の中心・聖体
「日本の教会」キリスト者の家庭のあかし
※4面記事参照